

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	南魚沼市家庭教育支援チーム (呼称:「だんぼの部屋」) URL: https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/docs/5980.html
②活動拠点	南魚沼市立の六日町・北辰・塩沢・浦佐の各小学校、総合支援学校
③活動範囲	南魚沼市内全域
④組織体制	18人 主任コーディネーター(兼家庭教育支援員)1人、家庭教育支援員17人 その他にボランティアサポーター10数名 ※家庭教育支援員の内訳 民生委員、地域コーディネーター、拠点校保護者、元保護者
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 南魚沼市 社会教育課 生涯学習班 (TEL)025-773-6610 (E-mail)gakusyu@city.minamiuonuma.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(しゃべり場サロンの活動を中心に、親子もの作り教室・料理教室・学習会等の開催)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべり場サロンの開設(拠点校5校の校内・敷地内) 活動拠点である学校内及び敷地内に、子ども、保護者、地域住民など誰でも気軽に立ち寄り、思いや悩みをつぶやける場を開設しています。そういったつぶやきの中から活動のヒントを得ることもあります。必要に応じて関係機関等とも情報共有をしており、地域の方から活動につながる情報が提供されることもあります。 ・だんぼ親子教室の開催 親子で一緒に作業する、もの作り教室、料理教室、ワークショップを年に数回開催しています。親子と一緒に楽しむことで会話も広がり、子どもは大人に感心したり、大人は子どもの成長に感動したりして、いつもと違った一面が見られます。 ・だんぼ学習会の開催 保護者や祖父母の方を対象に、子どもとの関わり方や祖父母と孫との接し方の大切さ等をテーマに学習会を開催しています。また、大人の方を対象にした絵本の読み聞かせの会も開催しています。普段は読み手の大人が聞き手になることにより、絵本に親しむ楽しさ、自分へのご褒美の時間、読む場所の大切さに加え、読み手が活動できる場を提供しています。 ・就学前の保護者交流会やPTA 保護者会への出前講座 「だんぼの部屋」紹介用リーフレットの配布、講話や寸劇等を行い、家庭教育についてわかりやすく説明しています。 ・市内全校の新一年生の保護者へ「メッセージカード」を配布 親から子へメッセージを送る機会を提供しています。 ・広報紙「だんぼず ROOM(ルーム)」の作成、配布 市内の保護者等に日常のほっとする場面の様子を添えて、だんぼ親子教室や学習会の様子、関係機関からのお知らせについて、活動拠点校を中心に配布しています。 ・体操着、制服、スキーウェア等のスポーツ用品、その他リユース品の提供(PTA との共催) ・ミーティング 週1回、各拠点校の家庭教育支援員やコーディネーターが集まり、情報共有やより良い対応について話し合いをしています。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者、地域住民などが気軽に立ち寄り、つぶやける場所や機会を提供できました。 ・親子もの作り教室、料理教室、ワークショップを通じ、親子が共同で作業する楽しさのほか、子ども自身が役に立つ自分を発見することができました。 ・家庭教育の大切さについて、本当に知ってもらいたい保護者等に情報を届けることの難しさを感じています。また、家庭教育支援チームの活動を正しく理解してもらうことにも苦労がありますが、長い間の活動成果もあって学校からの依頼で就学時健診、半日入学の際に時間をいただき活動を紹介していま

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーには、それぞれの事情でそれまでの活動と同じペースで続けられない人もいます。今後も多くのメンバーが無理なく関わりやすい活動方法を検討しながら、新メンバーの確保や育成を行いたいと思います。 ・支援を必要とする子どもや家庭には、それに対応する知識や配慮が必要な場合もあって、スタッフやボランティアメンバーが研修できる機会が大切だと感じています。しゃべり場サロン、親子もの作り教室や料理教室など、これまでの活動を無理のない範囲で継続していくことが目標です。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>